

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営スローガン

「今日のあたり前」を支え、「明日のあたり前」をリードする。

ROE
10%以上ROIC
6%以上当期利益
3,200億円営業利益
5,000億円

② 中長期の経営戦略

1. 筋肉質な経営体質へ転換

ROIC改善に向けた「見える化」推進、AI活用による業務効率化・組織スリム化、リスクマネジメント強化を実施。

3. AI活用の強力推進

AIイノベーション部を発足。供給・製造・R&D・販売・経営管理全域でAI活用可能性を追求。

2. ポートフォリオ再編推進

海外燃料油事業等の早期収益化とLNG・バイオ燃料等の低炭素事業へ優先的にリソース投入。M&A活用を含む成長機会追求。

4. 投資管理の高度化

投資審査専任組織設置による当初計画から5%の投資額削減目指し、PMIガイドライン整備でM&A成功確度向上。

③ 対処すべき課題

① エネルギーtransition対応

- ・カーボンニュートラルトレンド緩やかで本格分岐が遅れる可能性に備える
- ・移行期のエネルギー重要性が高まる低炭素事業へ注力
- ・基盤・素材事業の効率化・強化でキャッシュ創出力向上

② 事業環境の不確実性拡大

- ・エネルギー安全保障意識の高まり・トランプ政権リスク
- ・脱炭素コスト増加・インフレによるプロジェクト採算予見性低下
- ・機動的・柔軟な経営体質への転換が急務

③ 企業価値最大化への道

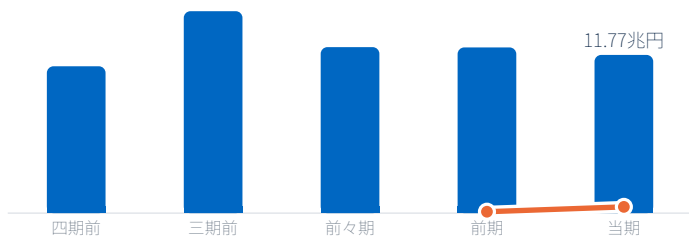
- ・PBR1倍超えに向けたROIC改善推進が課題
- ・JX金属上場によるコングロマリットディスカウント解消
- ・株主資本コストを継続的に上回る経営実現必要

面で使えるポイント

- ・エネルギーtransition実現に向けて基盤事業強化と低炭素事業成長を両立させ…
- ・651社の連結対象会社のROIC改善とAI活用による全業務領域での業務効率化で、筋肉質な経営体質への転換を推進中。
- ・不確実性の高い事業環境下で設備投融資1兆5,600億円のうち戦略投資7,400億円の4割以上をLNG・SAF等低炭素事業…

証券コード 5020

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
11.77兆円

営業利益率
4.0%

財務健康度
25点 / 100点

要するに

2010年に設立された持株会社であり、497社の子会社と154社の持分法適用会社

主力事業・セグメント

- ・Petroleum製品 91.7%
- ・HighPerformance素 3.0%
- ・Electricity 2.9%

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高11.77兆円の超大型企業
- ・平均勤続17.0年と定着率が高い
- ・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 62.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
1,138万円

石油・石炭製品内 2位/9社

平均年齢
43.0歳

石油・石炭製品内 6位/9社

平均勤続
17.0年

石油・石炭製品内 5位/9社

女性管理職
12.5%

石油・石炭製品内 1位/5社

男性育休
-（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

